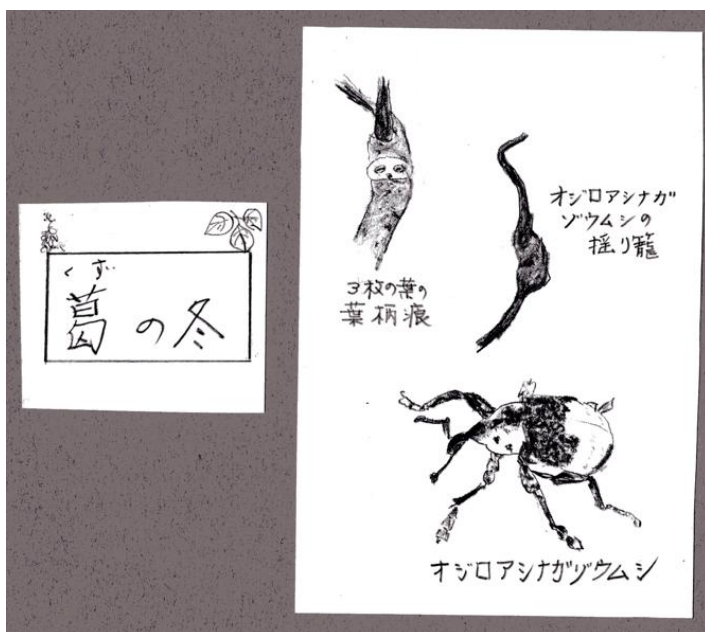




ゴロスケ報々



イラスト：森の絵本づくりの会 井川

●友の会プロジェクト紹介（野草の調査と保護）●

「野草の調査と保護」は現在メンバー7人で活動しています。

活動内容は、モニ 1000 里地調査・植物相調査とピクニック広場の植物調査と植物保護作業です。それぞれ月1回平日に行っています。活動日は大体月前半の火曜と木曜です。年1回はカシの森の草取り作業をし、不定期で希少植物の調査をすることもあります。酷暑の8月は活動を休むこともあります。

活動の目的は、横浜自然観察の森が生きものにぎわいのある森になるためのお手伝いをすることです。植物に詳しくないけどにぎわいのある森づくりに参加してみたいという方たちの為に、今年から年2回平日と土曜日に助っ人行事を始めました。環境保全ボランティアへのとっかかりとして参加してみましよう。安全に作業しながら、森の植物を少し覚えられるかも。

7月には希少植物の保護作業をしました。12月には外来種の抜き取り作業を予定しています。現在は友の会会員限定ですが、コビット19が終息したら一般市民に呼び掛けることも考えています。

野草の調査と保護ってどんなことをしているのかなと思ったらお試し参加してみてください。友の会会員ならいつでも歓迎です。ただし希少な植物がどこにあるのかは内緒にしてくださいね。

野草の調査と保護 篠原由紀子

友の会目標

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

●11月定例会報告●

日時 2021年11月21日(日) 9:15~10:15 オンライン併用
出席者 青木、今村、大浦、大西、落合(司会)、志釜、篠原、関根(書記)、高橋、中里、西山
山口、渡部、観察センター掛下R、尾崎R

議 題

- 1 友の会の10月から11月までの行事・活動報告をしました。
PJ 行事では、鳥のくらし発見隊の「みんなでバードウォッチング」が再開し(11/14)、「オンラインで季節の森を歩こう」(ハンミョウの会)と森の作業体験が実施され、他は中止となりました。
- 2 来年2月までの友の会行事予定を確認しました。
実施予定の行事
「森を守るボランティア体験」観察センター共催
12/19 鳥のくらし発見隊担当、2/20 カワセミファンクラブ担当
「オンラインで季節の森を歩こう」、「みんなでバードウォッチング」、「森の作業体験」、
「初めてのバードウォッチング」
その他の一般参加型行事は中止の予定です。予定している行事も感染状況により、中止になることもあります。
- 3 センターより センター便りのページをご覧ください。

<次回の定例会> 2022年1月16日(日) 9:15~ オンライン併用で実施の予定です。

以上

★定例会は会員どなたでも出席できます。オンライン併用ですとご自宅から参加出来ます。

●11月理事会報告●

日時 2021年11月21日(日) 10:20~11:30
出席者 青木、今村、大浦、大西、落合、関根、中里、中塚、西山、山口、掛下R、尾崎R
(欠席:秋元、漆原、星隈、村松)(COVID-19感染拡大防止のためオンライン併用)

議 題

- 1 中間報告
・事業及び会計の中間報告がありました。コロナ禍で行事実績は少ないですが会員向けの体験行事の感染防止対策について情報共有したいとの意見がありました。
- 2 次年度事業方針
・2020年度の主要日程案(4/3(日)総会、10/16(日)まるごと体験、12/17(土)望年会)を了承しました。
- 3 利用推進会議(後期)
・3月5日(土)13:00~の開催予定と議題(報告・計画)を確認しました。
- 4 安全管理(危険情報報告等)
・次年度安全管理講習会について、土砂崩れ危険度や豪雨予報時の対応等に関するテーマで検討する方針を確認しました。
・合わせて、上記対策等について行政各機関からの情報提供を要請することを確認しました。
・前回以降、その他の事故・危険事例等はありませんでした。
- 5 その他
・「つながりの森のルール・マナー」について、9月通知の経過説明と合わせて、実効性のある周知・普及の具体案や各施設の既存ルールとの整合性などを各設置者・管理者と調整の上、整理された形で提示するよう、市所管課へ要請することとなりました。

<次回理事会>

日時 2022年1月16日(日) 11:00~(定例会終了次第、早めに開始)

場所 自然観察センター研修室(オンライン併用)

議題 次年度計画、定期総会準備、利用推進会議、安全管理 ほか

以上

●森を守るボランティア体験(秋の森まるごと体験の代替行事)●

10月17日(日)、中止になった「秋の森まるごと体験」の代替として、センターとの共催行事「森を守るボランティア体験」を事務局担当でオンラインで実施しました。

参加者2名、スタッフ友の会3名(上原、今村、中里)、センター1名(尾崎R)
アンケートにより、「友の会の活動が良く理解できた」との回答をいただきました。

事務局 中里

●コナラの谷の環境整備●

11月11日(木)にスタッフ5人、参加者0人で荒レンジャーの応援も得て、コナラの谷の溪流を覆っていた草を刈り、トンボ類が流れに沿って飛行する航路を確保しました。25m程でしたので1時間程で作業完了しました。今後も皆の力でトンボが棲みやすい環境を保全して行きましょう。

カワセミファンクラブ

●森の作業体験(間伐体験)●

開催日：2021年11月20日(土) 10:00~12:00

一般参加者：2名(1家族3名が欠席)

担当：雑木林ファンクラブ スタッフ7名参加

7区にて、アラカシの高木(約10m)を伐倒する体験をしてもらいました。枝払いの後、炭小屋に戻って、コースター作り、竹細工などを体験してもらい、同時に炭焼きの見学を実施しました。

「木が倒れるのを観て、感動した!」「木を切るのは難しいが、楽しかった!」等の感想をいただきました。

定員が少なく、参加をお断りしたのに、キャンセルが出て、機会損失となってしまったことを反省材料として、次回に臨みたいと思います。

雑木林ファンクラブ

友の会行事のお知らせ

●森を守るボランティア体験(冬の野鳥を観察・記録しよう)●

皆で冬の森を歩きながら各種野鳥を観察、記録しましょう。

日時：2022年2月20日(日) 9:15受付開始 ~12:00

定員：8名(応募多数の場合は抽選)

持ち物等：歩きやすい服装、飲料(双眼鏡の貸し出しは致しません。)

申込：メール yokohama-nc@wbsj.org または、Fax 045-894-8892 担当：カワセミファンクラブ

●森の作業体験(間伐体験)●

日時：2022年2月26日(土) 10:00 ~12:00

萌芽更新などを目的にした木を伐採する体験ができます。薪割りやコースター作りや竹細工なども体験できます。ドラム缶炭焼見学も予定されています。

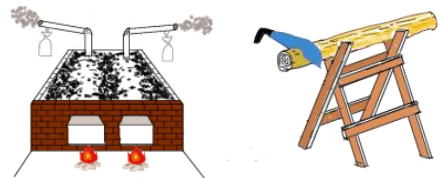
集合：10:00までに観察の森・炭焼き小屋

対象・定員：5名(中学生以下、保護者同伴)

※多い場合は先着順とします。

申込期間：1月30日(日) ~ 2月23日(水)

※新型コロナウイルス感染防止緊急事態宣言が発令されるなど、やむを得ず中止する場合がありますことをご了承ください。



Fax (045-894-8892) (観察の森) または E メール (entry@ynstomo.org)

担当：雑木林ファンクラブ

●初めてのバードウォッチング(初心者のためのバードウォッチング講座)●

日時：2022年2月27日(日) 9:00~12:00

定員：10名(申し込み多数の場合は抽選となります)

※詳しい募集要項は1月下旬に友の会HP、ブログ等で発表します。

担当：鳥のくらし発見隊

森のこぼれ話

ふむふむ

サッカーと鳥の意外な関係

皆さんはサッカーJリーグの各チームにマスコットキャラクターがいることをご存じでしょうか。Jリーグ（J1～J3）の57チーム中、54チームにマスコットがいて、そのマスコット達の中で、鳥のキャラクターが20チームと最多です！これは鳥業界としてチョッピリ誇らしいことですし、サッカーも鳥も大好きな私にとっては最強のコラボってやつです。

横浜市にはJリーグのチームが3つもあり、私が応援している横浜Fマリノスのマスコット「マリノス君」と「マリノスケ」も鳥で、港町横浜に相応しいカモメです。私の故郷甲府市のチームのマスコットは犬。天然記念物の甲斐犬です。みんな地元密着ですね。スポーツチームのマスコットだと、何となく熊とかライオンとか強そうな哺乳類系が多い気がしますよね。いえいえ、鳥が最多！ちなみに哺乳類系は（たぶん）18チームです。（架空の動物とかもいて区分けが難しい）

で、ここからが本題。その鳥のマスコットたちが、2019年8月に「Jリーグ鳥の会」という組織を発足しました。ベタなネーミングですし話題作りのネタかな？と思いきや、主な活動は環境保護活動といったって真面目です。発足後には高円宮妃久子様お立会いのもと、国際的な環境組織の一つであるバードライフインターナショナル東京との共同活動宣言の調印を行いました。Jリーグのチームとしてではなく、マスコットキャラクターたちが「Jリーグ鳥の会」として、その姿のままに調印式にも出席しました。その後も、本業のサッカー普及活動の傍ら、それぞれの地域に根差した環境保護活動をしています。

サッカーと鳥の意外な関係は他にもあります。昨年、J2の試合中、フィールド内に野鳥が迷い込んで何故か飛び立てなくなってしまいました。主審は咄嗟の判断で足元のその野鳥を取り上げて保護しました。時には主審の判定を巡って殺気立つこともある真剣勝負の試合中に、野鳥のためにボールから目をそらすことは主審としてとても勇気がいることだと思います。このファインプレーに「Jリーグ鳥の会」会員たちは大感激し、その主審を名誉会員として承認しました。人間として初の会員誕生です。いい話ですね～



マリノス君（右）とマリノスケ（左）

残念ながら、コロナ禍で今はイベント開催が出来ませんので、「Jリーグ鳥の会」20名（羽？）の会員たちはSNSなどで愛鳥週間の啓蒙活動や環境保護の発信や、地域の小学校訪問などを積極的に続けています。

鳥の会のメンバーはみんな芸達者で人懐っこい性格の人気者です。子供たちにとっては、怖そうなお顔？の大人たちの話よりも、愛嬌のあるマスコット達からのメッセージの方が説得力があるのかもしれないですね。

サッカー界にも頼もしくて愉快的私たちの仲間がいたのです。共に自然環境保護に係る者同士、皆さんも「Jリーグ鳥の会」の挑戦ならぬ鳥戦を応援してあげてください！

鳥のくらし発見隊 今村

昨年同時期の友の会ブログ記事を再掲載して、この季節の森情報を紹介するコーナーです。

森の自然情報 ブログより

今回は、2020年12月8日付け「野草の調査と保護」さんのブログです。冬のこの時期でも、森はいろいろな色や形の植物たちで賑わっているようです。残念ながらゴロ報ではきれいな色彩をお伝え出来ず、すみません。

編集担当

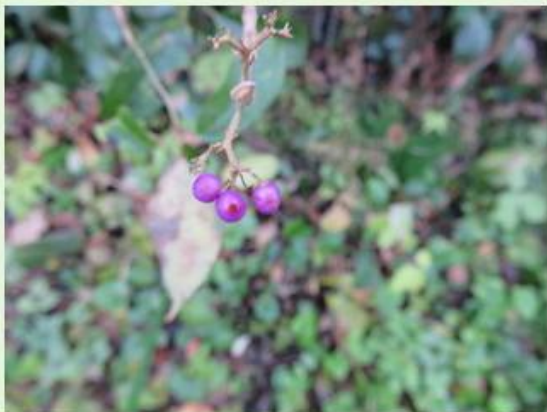
12月ともなると花は少なくて、その代わりというわけではないのですが、紅葉やら黄葉やらがきれいだし、木々の実も彩を添えてくれます。

では少しご紹介を。



エンコウカエデ ムクロジ科

イロハモミジより少し大きくて、葉の切れ込みも深いですね。葉の形を猿の手に見立ててこの名がついたという説があります。花の彩が少なくなる時期には美しさが際立ちますね。コナラの道や、ミズキの道ではよく見かける木ですが、高い木が多いので観察していると首が疲れますので悪しからず。



ムラサキシキブ シン科

この時期にはおなじみの植物の実でもうほとんどの実は落ちてしまったか、もしくは鳥の胃の中ですね。



ダイコンソウ バラ科

今年の花が咲き始めてからもう何か月でしょうか？大体いつも6月半ば頃なので、6か月ですね。もちろん最初に咲いた花は散っていますが、代わる代わる花が咲いてくれました。年が変わってもまだ花が見られるかどうか、お楽しみに。



アオキ アオキ科

花は時々ご紹介しているのですが、実はなかなかです。でもとてもきれいに熟した実がありましたので。青い実と赤い実、そして半分半分の実。なんとおあつらえ向きの塊でしょうか。しかも形も申し分ないなんて。森の中を歩いてみるとわかりますが、案外アオキの実のいびつなものにお目にかかることが多いのですよ。表彰状を上げたいくらい、は大きかったです👏



自然観察センターだより



2021年 12月号

【報告】 保安全管理フォローアップの会（11/13（土） 13～15時）

○参加者：友の会3名（篠原由紀子さん、藤原功さん、渡部克哉さん）、みどりアップ推進課1名（竹内彰裕さん）、レンジャー2名（掛下尚一郎、中沢一将）

○内容：桜林の実生木調査

2018、19年におこなって以来、2年ぶりに桜林の実生木調査をおこないました。2年前の時点で2mを超える実生もあったため、今回は5mまで図れる箱尺を用意して挑みました。結果は、3地点の方形区(5m×5m)に10種類の実生木がありました。順調に生長している木がほとんどでしたが、この間に消えてしまった木も数本ありました。また、周囲の実生木に阻害され上に伸びることができずにいる木や、新たに見つかり今回追加した実生もありました。最も生長していた木は2年の間に3m70cmも伸びたミズキで樹高6m40cmにも達していました。エノキも2m近く生長して高木になる樹種の生長の早さに驚かされました。他にもヤマグワやガマズミなどは1m前後生長していました。この先どのような林層になっていくのか、継続的に調査をしながら様子を見ていきたいと思います。



【お知らせ】 保安全管理フォローアップの会 今後の予定

★次回 1/8（土） 13～15時

○内容：ピクニック広場のクズ掘り 集合：研修室

※資料の準備の都合で、ご出席いただける方は、前日までに掛下（kakesita@wbsj.org）か中沢（nakazawa-k@wbsj.org）までご連絡ください。

【お知らせ】 環境管理作業の予定

今年も園内各所でナラ枯れが発生しました。この広い面積ですべてを防ぐことができていないのが実情です。年明け以降、園路沿いや外周で危険と思われる被害木については、今年も造園業者に委託して伐倒する予定です。大木がほとんどのため高所作業車両を使った作業も予定しています。一時的に園路の通行ができない場合もあります。作業の詳細が決まりましたら、定例会やメーリングリストを通じて改めてご連絡させていただきます。何かとご不便をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【お知らせ】 ピクニック広場に展望台が完成しました

ピクニック広場に新たな名所ができました。ここは、ササが身の丈よりも高く伸び、クズがその上を覆い、見通しが悪くなっていた場所です。ピクニック広場は、イベントや学校などの利用も多く、その利用拡大と草地の維持のためにアズマネザサとクズの繁茂を抑えるという2つの目的で、今年の7月から雑木林ファンクラブ（ZFC）のご協力のもと整備作業を開始しました。奥行約10mのササ藪を切り拓いたため、とても大変な作業でしたが、素晴らしい展望台となり、ZFCの皆さんも達成感を感じてくださった様子でした。

また、斜面への転落を防ぐため、ZFC お手製の粗朶柵も設置してもらっています。

この場所からは尾根を一望することができ、天気の良い日には青空に映えた猛禽類が稜線を巡回する姿や紅葉した木々を見ることができます。春にはヤマザクラの花や新緑に彩られた景観も見応えがあることと思います。ぜひ、展望台からの景色をお楽しみください。



作業前



作業後

【お知らせ】 調査報告 26 を発行します

森での1年間の調査記録などをまとめた「横浜自然観察の森調査報告 26」を12月に発行します。友の会のみなさんの熱心な投稿のおかげもあり、20本を超える論文・調査記録が掲載されています。各プロジェクトに1部ずつお渡しするほか、観察の森ホームページでもPDF版を公開予定ですので、ご覧ください。今回から、製本した冊子が不要の方はお知らせください。PDF版をお送りいたします。

【お知らせ】 自然観察センターの年末年始のお休み

2021年12月27日(月)から2022年1月4日(火)まで観察センターは休館になります。1月5日(水)より開館します。新しい年もどうぞよろしくお願いいたします。なお休館中も野外は散策できます。気をつけて自然観察をお楽しみください。



ヨツスジトラカミキリ



オカトラノオ



トラツグミ

トラづくし!

イラスト：かない

ボランティアさん
ありがとう

10月1日～11月30日

- 10/1～ カワセミファンクラブのみなさま 自然情報のご提供・園内の利用状況の情報提供
- 10/1～ 野草の調査と保護プロジェクトのみなさま 開花情報のご提供
- 10/1～ 雑木林ファンクラブのみなさま ストーブ用薪のご提供
- 10/20 雑木林ファンクラブのみなさま 関係者駐車場の草刈り
- 11/11 カワセミファンクラブのみなさま コナラの谷の下草刈りと枝おとし
- 11/11 カワセミファンクラブ 大浦晴壽さん 不法投棄についてのご報告

横浜自然観察の森 自然観察センター (月曜休館・祝日の場合はその翌日)

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1

TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org

<https://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

指定管理者：



行事スケジュール 12月～2月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●友の会 季節行事●(一般参加者募集)

下記行事の案内は3ページをご覧ください。

★森を守るボランティア体験

2/20(日) 9:15受付開始～12:00

●森の作業体験(間伐体験)

2/26(土) 10:00～12:00

●初めてのバードウォッチング

2/27(日) 9:00～12:00

●自然観察センター主催行事●

■鳥類調査超入門

バードウォッチングの経験がある方、一歩踏み込んで野鳥について知りたい方、鳥類調査に興味のある方を対象に、調査方法や結果のまとめ方を学んでいただきます。

日時：第1回：1/23(日)

第2回：3/24(木)

9:30～12:30(雨天決行)

※連続プログラムではありません。両日とも同一内容です。

対象：各回10名 抽選

①～③の条件を満たす中学生以上の方

①野鳥観察歴が1年以上

②身近な野鳥10種以上を姿や鳴き声で識別できる

③双眼鏡を持参できる(事前申し込みで貸出可)

申込締切：第1回：1/12(水)

第2回：3/14(月)

詳細はセンター配布のチラシ、またはHPにて。

★ 注意 ★

新型コロナウイルス感染症対策の状況によっては、各行事の募集中止/再開、開催方法や開催日の変更などの可能性もあります。

友の会のホームページ

(<http://ynstomo.org/>)

ブログ (blog.livedoor.jp/yns_tomo/)

で随時情報を更新していきますので、そちらでご確認をお願いいたします。

●友の会 定例行事●(一般参加者募集)

申込制イベントは、新型コロナウイルス感染症の状況により開催方法等が変更となる場合もあります。申込内容など詳細を友の会ブログ「森のできごと」でご確認のうえお申込みください。

●オンラインで季節の森を歩こう

～リモートでの森の観察会です～

1/9(日)・2/6(日)

11:00～1時間程度(ZOOM接続10:30～)

定員：先着10組(1端末が1組、1組何人でも可)

申込：メールで entry@ynstomo.org

担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～

事前申込制で活動再開しました!

1/9(日)・2/13(日)

9:30～12:00(雨天中止)

定員：15名(事前申込、応募多数の場合抽選)

対象：小学生以上(小学生は保護者同伴で)

申込：メールで entry@ynstomo.org

申込内容：行事名(みんなでバードウォッチング)、参加者全員の氏名年齢、代表者連絡先(住所・携帯電話番号)、双眼鏡の貸出し希望台数

詳細は友の会ブログ「森のできごと」参照

担当：鳥のくらし発見隊

毎月第2日曜

●参加者募集中止・未定の定例行事●

●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～

2021年度は参加者募集中止です。

●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～

2021年度の行事活動は中止です。

●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、遊びながら自然とふれあい～

2021年度は行事活動は中止です。

発行日 2021年12月19日

発行 横浜自然観察の森友の会

F A X 045-894-8892

E-mail: jimukyoku@ynstomo.org